

平成19年度

町成人式

責任ある大人への第一歩、
成人式が開かれました。
まちの豊かな自然と
温かい人々に囲まれて育った
新成人たちは、
これから新たな気持ちで
社会へと羽ばたいていきます。



今年は54人が新成人に

8月15日、平成19年度の町成人式が町文化センターで開かれました。

今年大人の仲間入りをしたのは、昭和62年4月2日から昭和63年4月1日の間に生まれた54人。成人式にはそのうちの42人が出席しました。

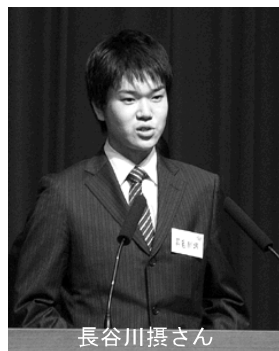
式では、景山町長が「成人とは精神的にも成熟した人を指す。豊かな自然と人情を活かし、暮らしやすいまちをつくるため皆さんの積極的な参加をお願いしたい」と式辞を述べました。

また、新成人を代表して長谷川慎さん（舟場）、田貝悠平

さん（津地）が新成人の誓いのあいさつを行いました。

長谷川さんは、「今は皆それぞれの道を歩んでいるが、地元に帰ったとき温かく迎えてくれる友達は自分のふるさと。このまちを自分の誇りとして、まちに貢献できるように頑張りたい」と話しました。

田貝さんは、「このまちの自然は誇り。この自然を守る



長谷川慎さん



田貝悠平さん

ため小さなことから行動していき、また人の温かさを引き継いでいきたい」と話し、誓いを新たにしました。

式典の後には、根雨出身の指画家、浜田珠鳳さんによる記念講演が行われました。また、山村開発センターで懇親会が行われ、懐かしい学校給食を囲んで再会を喜び合いながら、お互いの近況を報告するなど旧交を温めました。

指や爪だけで描く指画に出会い、創作活動を続けるかわら中国天津美术学院客員教授として活躍しています。

講演の中で浜田さんは、戦後韓国から引き上げてきた時の苦労や、日野の自然に親しんでいたことが現在絵を描くのに役立っていることなどを話しました。

逆境を乗り越え人生のステップに

浜田珠鳳さん記念講演「生きる証」

また、「中国では、一人の

人に出会うと一本の新しい道ができるといいます。人との出会いを大切に、苦労や逆境を乗り越えて新しいチャンスをつかんでほしい。そうすることで新しい道が開けます」と話し、新成人たちは郷土の先輩の言葉を心に刻みました。



人生はチャンスの連続と話す浜田さん



昔を思い出す学校給食



町民憲章を唱和、大人としての責任を自覚



町内のコーラスグループと町民歌「きらり この町」を合唱